

地質ニュース

第494号 1995年10月

口 絵

地質標本館所蔵標本「木下標本」(II)硫化物……………地質標本館

巻頭エッセイ：沿岸都市の立地条件 ……………	小玉喜三郎	6
GEOLIS って何だ? ……………	南 寿宏	7
地質調査所の新出版物の紹介 地質調査所蔵書目録 東アジアおよび東南アジア (1945年以前のもの) ……………	岡野 武雄	13
北海道支所「炭田・油田・ガス田」調査資料の目録完成について ……………	白髭 弘次	19
特定観測地域の地質図幅作成計画 ……………	久保 和也	21
遺跡の石の起源をもとめて—茨城県千代川村下栗野方台遺跡の例— ……………	吉川 敏之・赤井 博之	26
物理的側面からみた水圧破碎の総説 ……………	中島 善人	33
日本の地震予知研究史—先駆者今村明恒と当時の地震学— ……	西澤 修	43
日本水紀行(10) 北部九州(福岡・佐賀・長崎県)の名水 ……………	島野 安雄・永井 茂	60

GEOLIS(日本地質文献データベース)1994年フロッピーディスク及び

地質文献目録1981年版フロッピーディスク公開のお知らせ……………12

編集後記……………70

表 紙

仙台市北方の「県民の森」東部に見られる七北田層中小断層群：岩切城跡の東北東約900 m，利府町神谷沢字北沢の切り割りで番が森山背斜東翼をなす後期中新世七北田層上部中に多数の正小断層が発達する。七北田層は主として凝灰質砂岩からなり，シルト岩・軽石凝灰岩・火山角礫岩・細粒凝灰岩を挟み見事な層状を呈している。シルト岩・砂岩中にはロードキャスト・コンポリュート葉理・プリアートスランピンなど各種の堆積構造が発達している。写真右側の断層はN75°E, 70°SEで落差2 m，同左側の断層はN80°E, 77°SWで落差2 mである。このほか東西性の北または南へ傾斜する高角の正断層群が卓越して発達するが，一部正断層を切る逆断層も観察される。(写真：水鳥隆志，文：阿部智彦)

通商産業省 地質調査所
工業技術院

〒305 茨城県つくば市東1-1-3

Tel. 0298-54-3520, Fax. 0298-54-3533

Geological Survey of Japan